

今月のメッセージ 「誕生日は誰のもの」



7月21日の誕生日は、子供の頃、夏休みに入った喜びで忘れてしまって、過ぎてから思い出していました。大人になってからは、忙しくバタバタしているうちに過ぎるといのが普通でしょうね。

先人の話で、「誕生日は、母親が一番苦労した日だから、産んでくれた母親にお礼を言う日だ」と教えて下さいました。それが心に刺さって、今年も母に沢山お礼を言い、その姿を思い出して懐かしくなりました。

医学の進んだ現在でも、お産は女性の大役が変わりありません。私の場合も、母は子宮筋腫が大きくなって、医者に産まない方がいいと言われたようです。それでも、親神様のご守護を信じて産んでくれた母に、感謝しかありません。

私が忘れていても、きっと母は毎年そのことを思い出して、親神様・教祖にお礼を言っていたのだらうと思っています。私の誕生日は、産んでくれた母の大切な思い出であり、親神様のご守護の証です。(吉田)

TOPIC 気温が35度を越える猛暑日となった、6月24日の明日香村。この日、大教会では「山整備総出ひのきしん」を実施し、約60人が参加。午前9時から午後3時にかけて、神殿東側の山林整備を行ったほか、神苑内の除草、信者会館内の清掃を行った。中でも、大がかりな作業内容となったのは山林の整備。畑の日陰の原因となっている樹木や、通路をふさぐように伸びた植木を剪定したほか、不要な樹木を伐採。切り倒された木々や枝は手作業で山のふもとまで下され、1tトラックに約10杯分の「剪定くず」が運び出された。少しの作業でも汗がふき出る中、参加者からは「一手一つに実動するひのきしんは、とても気持ちがいい」との声が聞かれた。

立教一八五年 八月号 (七月二十三日発行) 岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp
発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111
天理教岡大教会
電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
185.7.23 / 043

R185 Event Information

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

- 4日 岡心勇隊佐賀地区
- 8日 岡心勇隊奈良中和
- 9日 岡心勇隊五條橋本 (あやの台)
- 13日 岡心勇隊八幡地区
- 15日 大教会ひのきしん (道弘)
- 18日 岡心勇隊大阪地区
- 21日 大教会ひのきしん (相嘉)
- 22日 祭典準備ひのきしん
- 22日 大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡萩)
- 22日 大教会役員・直属教会長連絡会議
- 22日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭
- 23日 婦人会話所ひのきしん
- 23日 大教会ひのきしん (東松浦・西北)
- 24日 大教会ひのきしん
- 25日 詰所ひのきしん
- 26日 本部月次祭
- 30日 岡心勇隊姪浜会場
- 第一日曜日 おぢば伏せ込み団参 (午前中)

▼その他の行事予定▲

8月
8~12日 学生生徒修養会 (高校の部)

9月
1~30日 にをいかけ強調の月
5日 岡大教会秋季霊祭
23日 家族参拝デー
24日 婦人会バザー
28~30日 おつとめ勉強会
全教一斉にをいかけデー

10月
3~21日 直属巡教
23日 婦人会バザー
27日 青年会第97回総会
29日 関東おつとめ日

教務報

- ◆本部食堂ひのきしん (7月1日~15日)
岡谷 森井正次
- ◆教養掛
8月 眞世 森井道典
9月 東志免 高場純貴

◆別席願 (6月16日~7月16日大教会受付分)

- 筑八 近藤 美佐江
- 南阿太 長原 多恵子

◆教会長夫妻特別講習会

- 6月12日 岡谷 森井正次 森井典子
- 7月17日 岡瀧 常道祐毅 常道京子
- 表田 上田耕平 上田優子
- 香蘭 金武直子 金武孝健

猛暑日の中 大教会総出ひのきしん実施



岡大教会チャンネル 動画配信中

今回の動画は 山整備総出ひのきしん

https://youtu.be/wkwin5wuu7E

第30回 女子青年大会

2022年 11月27日(日)

式典/午前10時 本部中庭

教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を

バリアフリースイレ改修



詰所本館1階の男子トイレの一角に設置されていたバリアフリースイレ。スペースの狭さから活用しにくい状態となっていたため、このたび改修工事を実施。「何の心配もなくおぢばへお帰りいただきたい」との思いも。

婦人会伏せ込みひのきしん



今月は、表野、須光、東松浦大阪、肥城、西乃島、松ヶ江の6教会から参加。夕づとめ後の散策では「ホテルには出会えなかったけど、明日香村の素敵な景色にあらためて感動しました」とのことでした。

大教会総出ひのきしん



「山整備総出ひのきしん」と銘打って実施された大教会への伏せ込み。男性陣は山林伐採へ、女性陣は神苑の除草作業のほか、炊事ひのきしんや信者会館の清掃を実施。猛暑に負けず、心勇んでひのきしん!!!

子供たちに素敵な思い出を



コロナ禍の影響から、3年連続中止となった「こどもおぢばがえり」。大教会としては「おぢばへ返ってくれる子供たちに、少しでも素敵な思い出を」との思いから、詰所で「ふれあい広場」の開催準備を進めている。



▲新型コロナウイルス対策の一つとして、今回の講習会ではオンラインを活用した。

婦人会岡支部

教祖年祭活動に向け団結 委員部長が一堂に会しをやの思いにふれる

「この机は3列に並べてください」、「受付の準備は大丈夫ですか?」――。6月25日の午前10時、詰所はたくさん女性のでぎわっていた。この日は、婦人会岡支部(吉田陽子支部長)の「委員部長講習会」開催当日。一泊二日のプログラムで、委員部長ら55名が受講した。先のぎわいは、直前の準備に走り回る岡支部委員と助員のメンバー。参加者の受付が終わり、会場となった食堂ホールに一同が集うと、静かに開会の時を待った。

「講習会」のメインは、婦人会長様の「婦人会第104回総会」時におけるご挨拶の拝聴と、吉田支部長のおはなし。そして、それを基に実施されたねりあい。特にねりあいでは、お互いの意見交換に時間がさかれ、委員部長としての役割や一人の婦人会員としての歩み方に対する思いを深めた。

二日目の26日は、全員で教祖お出ましを拝し、ご本部の月次祭に昇殿参拝。コロナ禍の影響から思うように集えなかった2年半を振り返り、「久しぶりの開催に、担当者も世話係を担ったメンバーも、参加者も、イキイキはつらつとしていた」、「こうして同じ時間を共有でき、お互いの距離が縮まった」、「この団結を継続し、年祭活動へ向かいたい」といった感想が聞かれた。

▼4月に開催された婦人会第104回総会での婦人会長様のご挨拶を拝聴し、それを基にねりあいを実施。

